

## 「現在、話題になっている事項に関するアンケート」について

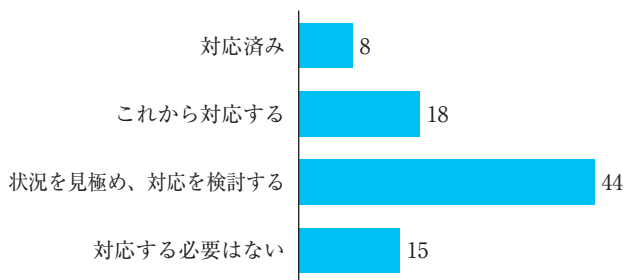
当研究所では今回のトップアンケートに合わせて、「現在、話題になっている事項」に関するアンケート（無記名）を行いました。これは長崎新聞社との合同企画として実施したもので、新年の同紙上にも関連する記事が掲載されます。ここでは、各問の結果のみを取りまとめてご紹介します。

ご多用のなかご回答いただきました87名の方々には、重ねて厚くお礼申し上げます。

### ■キャッシュレス化について

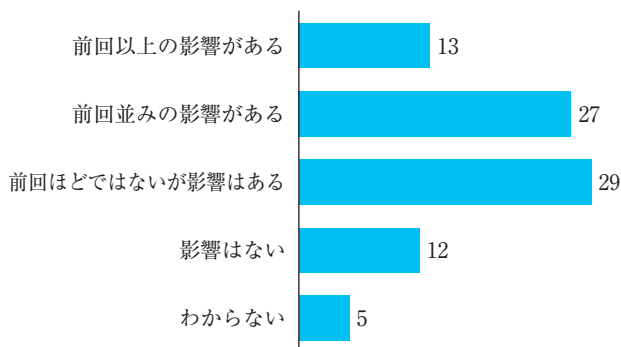
経済産業省は2025年までにキャッシュレス比率を現状の2割から4割程度にするという目標を掲げています。

QRコード決済やスマホ決済など、新たなキャッシュレス決済に対応しますか。



### ■消費税増税の影響について

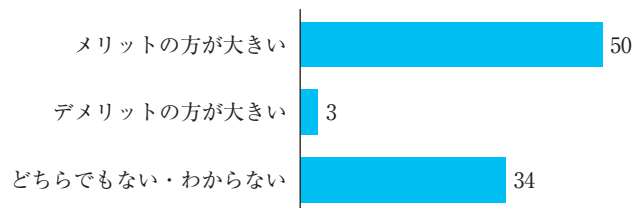
19年10月に消費税増税が予定されています。貴社の事業に影響はありますか。



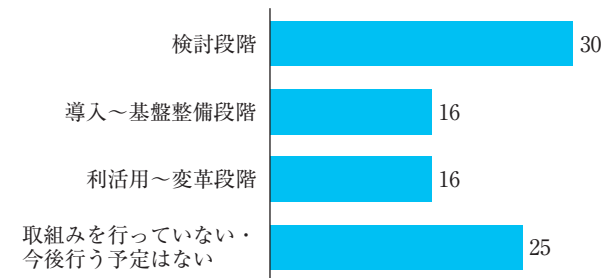
### ■第4次産業革命に向けた取組みと課題

IoTやAI（人工知能）、ロボット等の導入による技術革新は第4次産業革命と言われ、様々な社会的な変革や産業構造の変化がもたらされるとみられています。

#### (1)会社や業界への影響

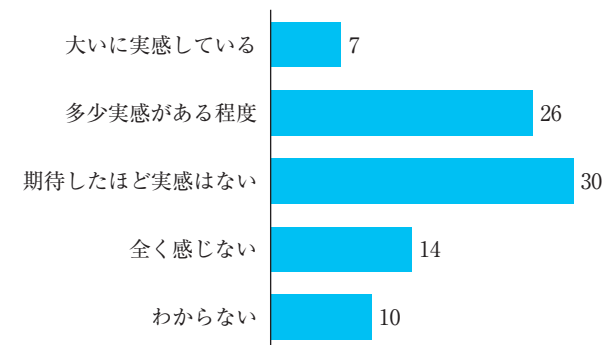


#### (2)第4次産業革命への対応状況



### ■潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録効果について

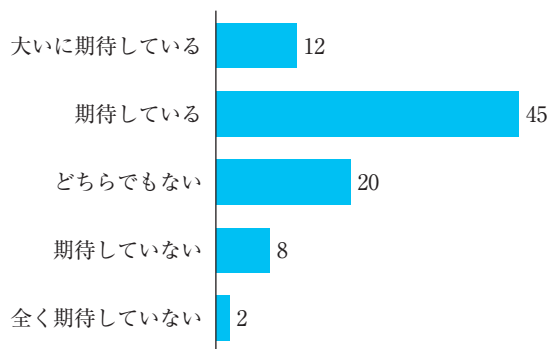
昨年は、潜伏キリシタン関連遺産が世界遺産へ登録されました。波及効果を実感していますか。



「現在、話題になっている事項に関するアンケート」について

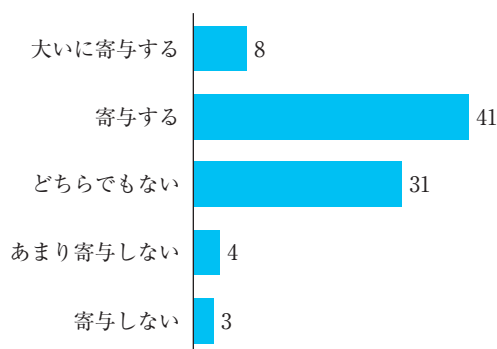
### ■統合型リゾート施設（IR）

カジノを含む統合型リゾート施設（IR）整備法が、今年7月に成立しました。本県は佐世保市のハウステンボスに誘致しようとしています。IR誘致が県内経済の活性化につながると期待していますか。



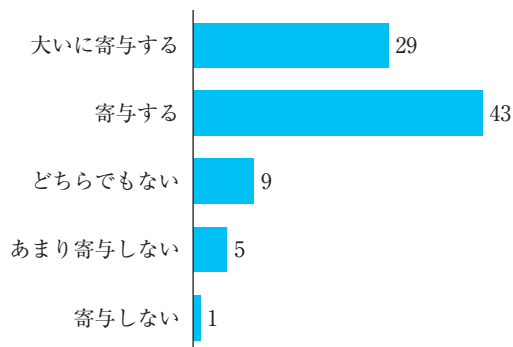
### ■サブカルチャー・コスプレイベント

コスプレなどのサブカルチャーイベントの開催が、若年層やインバウンドなどの交流人口を拡大させることに寄与すると思いませんか。



### ■V・ファーレン長崎

県内唯一のプロスポーツチームであるV・ファーレン長崎の活躍が、交流人口の拡大に寄与すると思いませんか。



### ■御社の事業で、平成30年間でふりかえって大きな、印象的な出来事は何ですか？（自由回答）

記述式で回答いただきました主な意見は次の通りです。

#### ○平成の30年間では・・・

- 事業の統合や再編が進んだ。
- 事業のスクラップ&ビルドを行い、新事業に参入した。
- 業界が最盛期から安定期を経て過渡期に至る。30年とは隔世の感がある。
- 生産者・加工場・販売を一体とする6次産業化を進め、水産県・長崎の魅力向上に寄与した。
- 旅行の形態が大きく変化した30年だった。
- 人口減少による需要減を、経営の多角化で乗り切った。
- 販売業からサービス業、製造業へと変革できた。
- 産地ブランドの知名度が飛躍的に向上し、来訪者も増えた。
- 大都市市場にチャレンジし県外需要を拡大できた。
- 自社製品の消費量が飛躍的に向上した。

#### ○平成30年の1年間では・・・

- 最新の衛生基準を装備した工場を建設した。
- 最新の技術一式を備えたスマート工場に取り組んだ。
- 潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録によって観光客数が増加した。
- 訪日外国人観光客数が増加した。
- 生産・販売とも海外に進出し、グローバル化できた。
- 夏場の猛暑、大雨や台風などで災害の影響を受けた。
- 人材確保に苦慮した。
- 原油価格や物流費が高騰した。
- 外国人労働者が増加した。